

結い

発行：NPO法人 地域福祉ネットワークいわき
 編集：NPO法人 地域福祉ネットワークいわき広報委員会
 〒970-8026 福島県いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター3階)
 TEL.0246-68-7612 FAX.0246-21-7618
 E-mail:yui@npo-fukushinetiwaki.com ご感想はこちらまで
 URL:<http://npo-fukushinetiwaki.com/>

NPO法人地域福祉ネットワークいわき

あなたを包む優しい光になりたい・・・

「NPO法人地域福祉ネットワークいわき」は、高齢者や障がい者をはじめとした誰もが自らの意志により、どこでどのように暮らすか(暮らしたいか)を決め、実践することのできる地域社会の実現を目指していきます。私たちの組織は平成19年よりいわき市の地域包括支援センター業務を運営しております。

○平成23年度地域包括支援センター活動報告○

平成23年度は、「震災後の地域高齢者の実態把握と地域ネットワークの再検証」「広報・啓発活動の充実」「関係機関・団体との連携強化」「業務の平準化・専門性の向上」に重点をおいて活動しました。

「震災後の地域高齢者の実態把握と地域ネットワークの再検証」

- 1 高齢者の実態把握
- 2 地区のネットワーク確認
- 3 関係機関間の情報共有、ネットワークの機能確認・再構築に向けて

この取り組みの中で次のことが平成24年度の課題として挙がりました。

- 関係機関間の情報の整理、集約、共有化
- 震災後の地域ネットワークのあり方
- 被災者、支援者のメンタルケアのあり方
- 介護保険事業所、医療機関とのネットワークのあり方

「広報・啓発活動の充実」

広報誌「結い」を年2回発行していますが、平成23年度は1回のみでの発行となり、震災後の取り組み、連絡先などを紹介しました。以前から全戸回覧をしている地域もありましたが、平成23年度は発行部数を増やし、一時提供住宅等に入居している高齢者等へ配布しました。

「関係機関・団体との連携強化」

地域住民の皆様や地域の関係機関・団体の方々とともに、地域についての情報交換や課題を話しあう「地域ケア会議」を各地区で開催し、地域の人々が主となって地域づくりができるよう取り組みました。

「業務の平準化・専門性の向上」

震災対応業務を優先したため、開催回数は減少しましたが、職種(保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等)ごとに会議を開催し、各センターの業務実施状況把握及び標準的な業務のあり方等について検討しました。

特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき 平成24年度通常総会

去る5月23日に平成24年度通常総会を開催し、平成23年度の重点取り組み事項などについて報告しました。
【平成23年度事業報告内容】(抜粋) ※数字はH24.3.31までのもの

被災者支援について

市内の一時提供住宅に入居されている高齢者を定期的に訪問し、身体の調子や困りごとなどについて伺っています(対象世帯数は1349件、述べ10876件訪問)。



また、住み慣れた地域を離れて生活されている方と地域の方との交流の場(お茶飲み会、サロン)づくりをしました(共催を含め60回)



関係機関・団体との連携について

高齢者の生活を地域で支える仕組みづくりとして、地域内の医師会・介護支援専門員との連携の集いを開催したり(計32回、述べ参加者773人)、地域見守りネットワークの結成・立上げ支援を実施し、平成23年度は「常磐釜の前」、「中平窪」、「下好間」の3箇所で開催されました。また地域ケア会議は計21回開催し、延べ701人もの方に参加して頂きました。



指定介護予防支援事業・総合相談業務・権利擁護業務など

- 介護予防の取り組みとして健康応援高齢者事業(二次予防事業)に参加した人数..... 268人
- 介護認定にて要支援の認定を受けた方に対する介護予防サービス計画書作成件数..... 8,631件
- 地域に暮らす高齢者の総合相談窓口としての相談対応延べ件数..... 3,390件
(上記の相談の対応や経過の確認などで訪問した延べ件数..... 6,400件)
- 虐待に関する相談の対応件数..... 77件
- 成年後見制度に関する相談の対応件数..... 48件

今年度も地域包括支援センターの適正運営に努め、その中でも震災に関する活動において、「地域に暮らす高齢者支援」の視点で取り組みます。さらにこれまで通り関係機関・団体との連携を強化する(地域の中で高齢者を支える仕組みづくり)と共に、広報・啓発活動の充実や、職員の業務平準化・専門性向上を図ることなどを事業計画として掲げています。

各地域包括センターのお問い合わせ 介護に関する悩みや心配ごと、健康や福祉、生活に関することをお気軽にご相談ください。

平地域包括支援センター
住所：平字梅本21(市役所本庁内)
TEL:0246-22-1174

小名浜地域包括支援センター
住所：小名浜字蛭川新川間62(小名浜武道館内)
TEL:0246-54-2945

勿来・田人地域包括支援センター
住所：錦町大島1(勿来支所内)
TEL:0246-63-2140

常磐・遠野地域包括支援センター
住所：常磐湯本町吹谷76(常磐支所内)
TEL:0246-43-2151

内郷・好間・三和地域包括支援センター
住所：内郷高坂町四方木田191(総合保健福祉センター内)
TEL:0246-27-8660

四倉・久之浜大久地域包括支援センター
住所：四倉町字西四丁目11-3(四倉支所内)
TEL:0246-32-2115

小川・川前地域包括支援センター
住所：小川町高萩字下川原15(小川支所内)
TEL:0246-83-1411

くお願ひ致します。(S)

編集後記

会員募集

特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわきでは会員を募集しております。地域福祉に対するご意見、ご提案等をお寄せ下さい。

種別	対象
正会員	法人の目的に賛同し、運営に参画する個人及び団体
賛助会員	法人の目的に賛同し、協力又は援助する個人及び団体
協力会員	法人の目的に賛同し、各種活動に協力する個人及び団体

■お問い合わせ/ 特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき
〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター3階)
TEL0246-68-7612(事務局まで)

各地域包括支援センターの 今年度の取り組み・目標をご紹介します

内郷・好間 三和

2チーム制で日々の業務を行っています。業務の平準化、専門性の向上を念頭に3職種協力し、また個人の特性、得意とすることを伸ばしていくことと、専門職カンファレンスでのケースの振り返りを職員
の技術向上を目標にしています。「困難なことは一人ではなく、チームで解決していく」を合言葉に2チームの中心である野口管理者の下、楽しくまた情熱を持ち仕事をしております。

お近くにお寄りの際は是非お立ち寄り下さい。



平

現在、民間借上住宅に入居中および避難先から沿岸部(豊間・薄磯・沼ノ内地区)の自宅に戻った高齢者のいる全世帯を定期的に訪問する「声かけ訪問員」の活動を5名の訪問員が中心となって精力的に行っています。声かけ訪問の目的は、どこの誰とも交流がなく孤立している高齢者(全く目が届いていない高齢者)を作らない、高齢者の孤独死を防ぐことにありますが、そのうえで生活再建の一助となるような支援を目指しています。

これからも地域の皆様とのつながりを大事にしながら高齢者の方々が安心して心穏やかに生活できるようにお手伝いしていければと思います。



常磐 遠野

「地域のネットワークによる見守り体制を作り、孤独死を防ぐ」ための取り組みに力を入れております。

地域が抱えている問題や状況を知るため

には、相談や情報を待つばかりでなく、地域の皆様への訪問を積極的に行なっていきます。

地域の皆様と顔の分かる、相談しやすい常磐・遠野地域包括支援センターでありたいと思います。



勿来 田人

地域で暮らす高齢者の方々が孤立化せず、普段の生活の場所で、小さな横のつながりの輪が作れるようお手伝いします。また、高齢者の方々が地域で生活するために必要な情報を伝えていきます。併せて、高齢者の方々の権利を護るため、虐待・消費者被害・成年後見制度について、地域の方々を対象に分かりやすくO×クイズ形式で説明していく活動や、認知症の人及びその家族を地域で支えていけるように、地域住民から認知症サポーターを養成していくことに力を入れていきます！



四倉 久之浜 大久

震災以降生じた地域の変化に柔軟に対応できるよう、行政嘱託員や民生児童委員の方々に協力いただきながら、常に新しい一人暮らし高齢者や、高齢者のみ世帯の情報を把握するための連携構築に、今まで以上に力を入れていきたいと思ひます。

また災害時の支援にもつながるような見守りの仕組みも構築できるよう、地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。



小川 川前

昨年度から地域ケア会議などを通して住民の皆様と地域内の見守りについて話し合いを重ねてきた江田・牛小川地区において、今年7月に見守り隊を結成することとなりました。

小川・川前地域の高齢者の暮らしを支えていくためには、地域にお住まいの皆様のご支援が大きな力となっています。地域関係者の皆様とのネットワークの輪をさらに広げていけるよう取り組んでいきたいと思ひます。



小名浜

震災から1年が経過し、今地域の中で支えあう仕組みづくりが求められています。今年度当センターでは、医療・福祉・介護の各関係機関の方々との合同勉強会の開催や、地域関係者や住民、そして若い世代(学校)との話し合いの機会を設け、一緒に地域のことを考えていきたいと思ひます。

そして顔の見える関係、地域の情報や相談がセンターに集まる仕組みづくりを行い、ネットワークの機能強化を図っていききたいと思ひます。

